日程第　１　　一般質問

議席	氏　　名	事　　項	要　　旨
5	後藤　三治	大分県竹田市との包括連携に関する協定の内容	①想定される災害に備えた取り組みで評価するが、どちら側からの申し入れなのか。 ②協定の内容は、具体的にはこれからだと思うが、町長の考える内容の一端をお聞かせ頂きたい。 ③高森町は、大分県と宮崎県に接している。折角の機会であるので宮崎県とも協定を結んでは。 ④町道片山・下山線改良で、町長は、大分県との道路接続を話されているが、今回、その話はされたのか。
		町道片山・下山線の改良状況と周辺道路の整備	①本来の計画では、延長２３０M、工事費３０，０００千円だったものが、次年度分を繰り上げ、延長３４０M、工事費１１２，５００千円、要するに１００M延長されたのに、工事費が９０，０００千円増加したとの説明を受けたが、どうも納得できない。再度詳細な説明を求む。 ②町道片山・下山線周辺の道路において、車の往来も出来ない劣悪な町道があるとの情報を頂いている。状況を確認されているのか。

2	立山　広滋	熊本県立高森高校マンガ学科開講に向けた高森町としての高校魅力化の取組と地域活性化	①高森高校マンガ学科推進室の設置と令和４年度当初予算高森高校マンガ学科事業の進捗状況は。 ②令和５年４月開講に向けた関係機関の準備状況や連携状況は(熊本県教育委員会、高森高校、(株)コアミックスそれぞれの取組と連携状況)。 ③今回提案の「熊本県立高森高等学校魅力化推進基金設置条例案」で実施を予定する基金事業の詳細及び、当条例案に込められた町長の高森高校マンガ学科と連携した本町におけるまちづくりのビジョンについて。
		アフターコロナを見据えた中心市街地活性化策	①令和２年度に完了した空き家解体ボランティア事業による跡地利活用状況は。 ②中心市街地活性化の起点となる高森駅前再開発事業の進捗状況は。 ③中心市街地の空洞化対策並びに活性化策について(アフターコロナを見据えた観光客誘致策を含む)。

1	後藤　巌	防災行政用無線の運用及び活用	①平時、緊急時における運用方法について ②時報（試験放送）の見直し ③行政事務として自治体・地区主催行事の周知としての活用について ④上記に伴う高森町防災行政無線局運用規則の見直し
		情報公開度調査結果	①高森町が無回答であった理由は ②今後どのように取り組んでいくか
		防災道路の活用（町道　西原・日ノ尾峠線）	①サクラミチとして高い認識を受けた防災道路であるが、春だけでなく通年楽しめるための整備はないのか ②鍋の平キャンプ場との一体運用等 ③知名度の高まりと共に道路への重要性を認識していただく施策をしていく必要性は